

2025年10月31日

「SM 物流研究会」及び「関西 SM 物流研究会」への新規参加について

- 持続可能な食品物流の構築に向けて、研究会参加企業と研究・検討へ -

株式会社さとう(本部:京都府福知山市/代表取締役社長 佐藤祥一)は、2025年10月17日(金)から「SM物流研究会」及び「関西 SM物流研究会」に参加いたしましたのでご案内申し上げます。これまで『2024年問題』をはじめとした物流課題について、当社でも独自で検討、取り組みを進めてまいりましたが、これを機に、研究会参加企業と協力して『持続可能な食品物流の構築』に向けて邁進したいと考えております。 ※「SM」:スーパーマーケットの略

■「SM 物流研究会」の概要

1. 目的

『2024 年問題』をはじめとする物流危機を回避し、地域の生活を支える社会インフラとしての 責務を継続して果たすため、物流分野を各企業間の「競争領域」ではなく「協力領域」と 捉えて、各社の協力による物流効率化策を研究・検討する。

2. 参加企業

サミット株式会社、株式会社マルエツ、株式会社ヤオコー、株式会社ライフコーポレーション、株式会社カスミ、株式会社西友、株式会社いなげや、株式会社東急ストア、株式会社原信、株式会社ナルス、株式会社平和堂、株式会社エコス、株式会社たいらや、株式会社マスダ、株式会社与野フードセンター、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社ベイシア、株式会社オークワ、株式会社万代、株式会社マルアイ、京成ストア、株式会社ウオロク、株式会社とりせん、株式会社さとう 参加企業計 24 社

3. 組織体系

首都圈SM物流研究会

(首都圏エリアの物流効率化) 1ヵ月に1回の開催 首都圏・北陸の企業が参加 座長:サミット株式会社 武田 哲志

SM物流研究会

(サプライチェーン全体の効率化) 3ヵ月に1回の開催 全社出席 座長:株式会社ライフコーポレーション 渋谷 剛

関西SM物流研究会

(関西エリアの物流効率化) 1ヵ月に1回の開催 関西の企業が参加 座長:株式会社平和堂 財田 晃

主な活動内容

4つの分科会活動を推進

パレット納品の拡大 共同配送、空きトラックの有効活用 チルド物流における物流課題解決 生鮮物流における物流課題解決 サプライチェーン全体(製・配・販)に 関する物流課題を協議

> _____ 各研究会の活動共有

関西エリアの物流課題を研究

物流の効率化(センター見学) 共同配送、空きトラックの検討 荷待ち・荷役作業等時間の削減 新規参加企業の勧誘

以上